

# 石井有美の「しゃべる箱」

## 第6話「なかよし通学合宿」にて

先日、寒冷紗を着ける作業をしていたら、寒い風が吹いてきて「いきなり冬かよっ」とビビりました。防寒の要は首です。マフラー必須で、初めての川根の冬に挑戦します。

さて、今号では、23ページに載っている「なかよし通学合宿（第一小学校区）」に参加したときのことをしゃべりたいと思います。

日頃、自分より年下の人に出会う機会が少ないので、最初は小学生の子っかがおっかなくてしよんなかったのですが、気がつけば本気で鬼ごっこ（ずっと私が鬼）したり、髪にリボンが結ばれていたり、いつの間にか遊んで、いや、遊ばれていました。

そんな中でふと思ったことは、こんなに楽しそうにしているも結構気を使って生きているんだなあということ。

3日間を通しての感想に「仲良くなれるか心配だったけど」というフレーズが多く聞かれたので気になりました。

どんなに少人数でも、人が集まれば「社会」が成り立って、大人の社会同様、色々困難があるんだろうなと感じたものです。

でも、私から見れば、みんないい子っただし、そんな心配しなくても大丈夫。何とかなるさー。って、思うんですけどね。

また来月！



全国お茶まつりで茶娘になりました

## みなさんの「声」を

### ご紹介しませう

「しゃべる箱」

毎号楽しみにしています

ペンネーム…素直さって大切ですね

「石井有美のしゃべる箱」毎号楽しみにしております。

一度でいいから、本物の「しゃべる箱」さんと話してみたいと思っただのですが…。先日、その願いが叶いました！「書き直しをしなくて済んだ」という第5話のお話しなど…なるほど素敵な「しゃべる箱」。

彼女の箱の中には、まだまだたくさん素敵な宝物が詰まっているように思います。素直で、元気で、明るくて…（うらやましい…）

これからも応援してますね。また機会があれば一緒に飲みたいですよ！

おハガキありがとうございました！

石井有美さんが当町に来てから、半年と少し経過しました。もうすっかりこの町に溶け込んで、様々な場所で活躍されています。最近、髪型を変えて少し大人っぽく？なった石井さん。みなさん、どこかで見かけたら、声をかけてあげてくださいね。コラムに関する感想もお待ちしています。



件名：編集後記 「地図にも記されず、ひっそりと地下を流れていく【もう一つの大井川】」 ほか

▼みなさんは大井川の「水返せ運動」をご存じですか？かつて「越すに越されぬ大井川」と言われるほど水量が多く急流だった大井川も今は昔。数多く建設されたダムや発電所によって、その水は地面の下に潜り、導水管を通して様々な所に送られていきます。地表は一筋の流れを残し、まるで荒涼とした砂漠のような姿です。この姿を嘆いた地域住民が「水を取り戻そう」と立ち上がり、ダムの放流による水の確保を求める運動を起しました。この運動は、やがて地域住民と行政とが一体となって取り組み、ねばり強い交渉と協議の結果、一定の流量を取り戻すことに成功したのです。「川と共に生きる」ことを願った住民の思いは、その後、様々な団体として形を成し、その精神は今に受け継がれています。

10月下旬、「大井川の清流を守る研究協議会」が主催する大井川の現状視察会に同行取材しました。（今号19ページ記事）これまで、何度も広報誌に取り上げられてきた「大井川の水問題」。広報を担当して半年、大井川の源流部を一度はこの目で見たいと思い、半分取材、半分は一参加者の気持ちで同行しました。川根町家山の駿遠橋たもとを起点に、笹間、塩郷、境川、大井川（いちしろ）、長島、井川、畑薙、赤石、田代といくつものダムや発電所を見るにつけ、その数の多さに圧倒されました。そして、最上流部の田代ダムで引き込まれた豊富な水の量、澄んだ水の青さも心に残る光景でした。田代ダムに引き込まれた大量の水は、二度と大井川に戻ることはないのだと思うと、何ともやり切れない気持ちになるのです。昔は満面と水をたたえていた川の姿に思いを馳せるとき、今の「大井川」自身の嘆きの声が聞こえてくる気がして仕方ありません。山があり、森があり、川があって人間がいる。日常、当たり前のようにその恩恵を受けている私たちですが、そのことに感謝の気持ちを持つ機会というのはそうそうあるものではありません。今回初めて、大井川の現状を目のあたりにして、改めて自然のありがたさを肌で感じるとともに、「水と森の番人」でいることが、いかに難しいことかを痛感した思いです。行く前は紅葉きれいな？とよこしまな気持ちも少々あった私ですが、勿論紅葉も素晴らしかったのですが、しかし、ダムを覗き込んだときの、大きな音を立てて水が引き込まれていく光景が目には焼き付いて離れない自分がいます。大井川の行く末を見つめ続ける意味でも、来年、またこの視察に参加してみたいと思います。参加されたみなさん、お世話になりました。貴重な時間でした。みなさんもこの視察会に参加されてみてはいかがでしょうか？新しい発見があるかもですよ！



田代ダム付近にて参加者のみなさんと（左端がわたくし）

\*今回の後記は、私個人の一参加者としての感想であり、全くの私見です。行政としての見解などは一切関係ないこと申し添えます。ご了承ください。

▼10月下旬に浜松市雄踏体育館で開催された新体連主催バドミントン全国大会の県予選大会に出場し、3位に入賞できました。応援してくださったみなさんありがとうございました。12月上旬に開催される「全国大会」への出場も決定し、より一層練習に精進している今日この頃です。みなさんに良い結果をご報告できるよう、へなちょこですが頑張ってます。応援のほどよろしく願いいたします。

▼広報かわねほんちょう「慶弔欄」について…来年2月1日発行号から再開いたします。皆様のご意見ありがとうございました。事務処理に手間取り、予定より1ヵ月遅れてしまい申し訳ありません。今後も「変わり続けていく広報」を目指します。ぜひ皆様「声」をお寄せください。 小笠原聡